



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Associated
Schools

CONNECT

ユネスコスクールニュースレター “ASPnet における変容的学習” 第 17 号 2021 発行

国際コーディネーターより（要約）

ASPnet コミュニティの皆様
ナショナルコーディネーターの皆様
教員・児童および生徒・保護者の皆様

本号では、新型コロナウイルスがもたらした問題および SDG ターゲット 4.7 の文脈において、これまでの成果を振り返り、また、特に変容的学習の推進に向けた我々の活動に焦点を当てます。

この一年間多くの困難に直面し、私たちはこのパンデミック発生当初に発行を始めたニュースレターCONNECTをはじめとするコミュニケーション媒体を通し、情報を共有し、連帯してきました。皆様からいただいた心のこもったメッセージや動画、アート作品、そして SDG ターゲット 4.7 を達成するための優先的テーマに関する数々のウェビナーやミーティングへの積極的なご参加に感謝いたします。

特に強調したい最大の成果の一つは、最近開催された 5 日間にわたる教師教育および研修機関のための世界会議です。この会議は、教師教育および研修における持続可能な開発のための地球市民教育のために連携を強化することを謳った Joint Invitation（共同呼びかけ）につながりました。

本号では ASPnet がどのように変容的学習のアプローチを通して 3 つの優先分野である地球市民教育、持続可能な開発のための教育、そして異文化学習と文化多様性の理解・尊重を実践してきたかの概要を示します。また、3 つ目の分野における重要な要素であり、我々の分野横断的な取り組みの手段としての芸術教育についても触れ、2021 年国際芸術教育週間（International Arts Education Week 2021）に応募くださった皆様の素晴らしい作品も紹介します。皆様と他の ASPnet コミュニティの方々の今後の活動に関するお知らせも掲載しております。

最後に、皆様への感謝とともに、変容的学習を通じた SDG ターゲット 4.7 達成に向け、ネットワークを最大限に活用するための我々のビジョンをビデオメッセージでお送りいたします。

主なコンテンツ

- ◆ ASPnet 国際コーディネーター Julie Saito（斎藤珠里）からのメッセージ：「変容的学習とは何か？（What is transformative education?）」

ビデオメッセージとメッセージ文

◆ ASPnet を通して SDG ターゲット 4.7 と変容的学習を実現する

● 有言実行

SDG ターゲット 4.7 を達成するためには**変容的学習**のアプローチが重要です。変容的学習は、学習者が自身、他者、そして世界をどのように捉え、考えるかを問い、変えていくこと、そしてより平和、包摂的で公平な持続可能な世界を実現するために十分な情報に基づく意思決定や行動を取ることができるよう促し、エンパワーすることを目指します。つまり、有言実行、教えを実行に移すのが変容的学習なのです。

- 革新の原動力：この精神は、2021 年 5 月に開催された持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議にて採択された[ベルリン宣言](#)と 2021 年 6 月に開催された ASPnet 教師教育および研修機関のための世界会議にて発行された Joint 2021 Invitation（2021 共同呼びかけ）に反映されています。

- 事例 - Change Initiative（変革のための取り組み）、ユネスコ「教育の未来」プロジェクト、Trash Hack（ゴミ削減キャンペーン）：**Change Initiative（変革のための取り組み）**では ASPnet 教師教育および研修機関の世界的な Community of Practice（CoP、実践コミュニティ）を構築しています。CoP は、地球市民教育（GCED）および ESD を強化するための変容的なアプローチを模索し、世界規模の協調的行動を促す Joint Invitation（共同呼びかけ）を発出しました。

ASPnet x ユネスコ「教育の未来プロジェクト」は、教育を再考し、未来を形作ることに取り組む意欲的なプロジェクトです。この一年で世界各国から 2,000 名を超える ASPnet の生徒、教員、学校長や保護者が GCED および ESD に関する問題について振り返り、議論し、3 回にわたるグローバルウェビナーにて共有された体験やその結果は[教育の未来国際委員会](#)に報告されました。主な調査結果は今後発表される予定です。

Trash Hack Campaign（ゴミ削減キャンペーン）では、[教員用の実用的なガイド](#)が作成されました。また、環境教育基金（FEE）と連携し、ゴミや廃棄物管理、持続可能な開発についての行動学習を推進しました。5 月にはグローバルウェビナーを開催し、世界各国のゴミ削減の成功事例を共有しました。詳しくは[こちら](#)。

◆ 異文化学習と国際芸術教育週間（International Arts Education Week）

● 芸術教育を通じた変容的学習

芸術教育は世界各国のユネスコスクールにおいて大きな役割を果たします。芸術を通じた学びは、GCED、ESD、異文化学習に関する考えや行動を促すだけでなく、学習や教育における、参加型の、行動指向型で包摂的、変容的および創造的な教育アプローチを推進します。これは、[Seoul Agenda: Goals for the Development of Arts Education](#)（ソウル・アジェンダ：芸術教育の発展目標）の目標 3（芸術教育の原理と実践を現代社会が直面する社会的・文化的課題を解決するために役立てる）と SDG ターゲット 4.7 が目指しているところです。

- 2021 年国際芸術教育週間（International Arts Education Week 2021） - 新型コロナウイルスパンデミック下における芸術教育の役割について

ユネスコは、2021 年 5 月 24 日から 30 日まで[国際芸術教育週間（International Arts Education Week）](#)を開催しました。本年は、コロナ禍における芸術教育の重要性を示す作品を募りました。皆様

の作品は、芸術教育がコロナ禍で受けた影響や、前代未聞の状況下を乗り越えるための解決策として芸術をどのように活用できるかという問いに答えるものでした。

- 芸術教育に関する ASPnet の活動事例
 - グローバルシチズンシップ、文化多様性と調和に関する歌：ファースト・ネーション（北米先住民族）、カナダ・ノバスコシア州エスカソニの Allison Bernard Memorial High School の[歌とビデオのプロジェクト](#)。カナダの先住民と非先住民の調和の素晴らしい事例。英語、フランス語、ゲール語、ミクマク語で歌われています。
 - [教育の統括官補佐（Assistant Director General of Education）Stefania Gianni と文化の統括官補佐（Assistant Director General of Culture）Ernest Ottone Ramirez からのメッセージ](#)
 - Trash Hack の芸術作品：[教員のためのガイド](#)には、創造的で革新的なアプローチを推進するアクティビティが紹介されています！
世界各国のユネスコスクールの芸術的な Trash Hack は[こちら](#)

◆ 最近と今後のユネスコの活動

- アフリカの ASPnet 小学校教員のための GCED オンラインコース：2021 年 9 月から 10 月の 6 週間開催予定。詳細は[こちら](#)。
- 持続可能な開発のための地球市民教育の学生フォーラム：人と地球のために行動しよう（Student Forum on Global Citizenship Education for Sustainable Development: Taking Action for People and the Planet）：ユネスコ ASPnet およびユネスコ ASPnet 国際センター（International Centre for the UNESCO ASPnet (ICUA)）は、2021 年 12 月に 2 日間にわたる学生フォーラムを開催します。本フォーラムでは、GCED と ESD に関する意見交換の場として、ASPnet や他のユースネットワークの若者の体験や革新的な活動事例が共有されます。9 月には事前の地域ワークショップが開かれます。詳細は[こちら](#)。
- 国際 Week of Sound コンテスト：昨年に続き 2 回目の” When Sound Creates the Image!（音がイメージを創り出す）”を開催、作曲家ガブリエル・ヤレド作曲のオリジナル曲に基づく 2 分以内の動画を募集します。曲のダウンロードとコンテストの参加登録は[こちら](#)から。

◆ ASPnet からのお知らせ

- Change Initiative（変革のための取り組み）世界会議：ASPnet の教師教育のための Community of Practice（CoP、実践コミュニティ）は、2021 年 5 月 31 日から 6 月 4 日まで開催された会議にて、持続可能な開発のための地球市民教育に関する変革のための実験やプロジェクトの開発・実践について話し合いました。重要な成果の一つとして、ビジョンの共有と地球規模の協調的行動を促す Joint Invitation（共同呼びかけ）が採択されました。
プレゼンテーション資料、ビデオ、参加者のディスカッションやフィードバックおよび Joint Invitation（共同呼びかけ）の文書など会議の詳細を含む、教師教育および研修機関や関心のある方のためのリソースキットは[こちら](#)。会議に関する記事全文は[こちら](#)。
- メンバーからのお知らせ
 - 生きた遺産を活用した教育と学習：ヨーロッパのユネスコスクールは、ユネスコと EU のパイロットプロジェクト [Raising awareness for and learning with intangible cultural heritage in European schools](#)（ヨーロッパの学校における、無形文化遺産に対する関心を高め、無形文化遺

産を活用して学ぶプロジェクト)に参加しました。本プロジェクトでは、生きた遺産を教育と結びつけることは、無形文化遺産を保護し、変容的学習に取り組むことにつながるという結果が見事に示されました。生きた遺産を活用したプロジェクトを策定・実践するために開発した[リソース](#)を是非ご利用ください！パイロットプロジェクトの詳細、開発されたリソースや生きた遺産に関するASPnetのメンバーのさらなる活動については[こちら](#)。

- 芸術、文化、教育をつなぐ Coventry Cities of Peace Project (コヴェントリー平和都市プロジェクト)：本プロジェクトは、平和と調和に焦点を当てた、イギリス・コヴェントリーの5つのユネスコスクールの小学校と日本の児童が連携した取り組みです。参加校は Broad Heath Primary School、Finham Primary School、Howes Primary School、Park Hill Primary School および Stivichall Primary School で、ロンドン日本協会と [Between the Stones](#) が連携して推進されました。コヴェントリー子ども大使 (Coventry Young Ambassadors) は Between the Stones のチームとともに3つのプロジェクトに取り組み、プロジェクトは Coventry Cities of Peace Project (コヴェントリー平和都市プロジェクト) と名づけられました。また、プロジェクトはコヴェントリーの広島市とのつながりに基づき実践されました。[プロジェクトの詳細](#)と [Booklet on the Cities of Peace Schools Project](#) をご覧ください。コヴェントリー子ども大使 日本平和庭園平和の島の落成式時におけるユネスコ ASPnet 国際委員会の Julie Saito のメッセージもご覧いただけます。

私たちのネットワークを構築・強化し、互いを励まし思いやる、皆様からの連帯のメッセージなどを、文章、絵、ビデオ、その他のアート作品にしてお送りください。

また、皆様の学校内外、家族内での体験や革新的な学習方法を aspnetinaction@unesco.org まで、[consent form](#) (同意書) を添付してお寄せください。

ASPnet チーム：

Julie Saito, Melanie Seto, Fouzia Belhami, Katja Anger, Simon Wanda, Helene Darne, Erik Eschweiler, Apolonia Torres

Get connected: <https://aspnet.unesco.org>

Contact us: aspnetinaction@unesco.org